



# 狭山台中だより

令和2年3月14日 卒業式号外  
狭山台中学校校訓 <信頼・努力・協同>

## 学校教育目標

- 学び合う生徒
- 考えて行動できる生徒
- 高め合う生徒

発行者 狭山台中学校長

## 令和元年度 狭山市立狭山台中学校 第45回 卒業証書授与式

校長式辞（卒業生への言葉抜粋）

**今年度の卒業式は**、新型コロナウイルス感染症拡大防止の措置により、卒業生と狭山市教育委員会の代表と教職員だけで挙行することになってしまいました。皆さんには、卒業前に在校生が一生懸命に準備していた3送会も実施してあげられませんでしたし、クラスや学年の仲間やお世話になった先生方と別れを惜しむ大切な数日間を学校で過ごさせてあげられず、本当に申し訳なく思っています。あまりにも突然過ぎて、戸惑いと寂しさと感染症の不安等が入り交じった、憂鬱(ゆううつ)な気持ちにさせてしまったことでしょうか。しかし、地域によっては、卒業式さえ実施できなくなった学校がある中、こうして皆さんとこの場に一緒に居られることは何より喜ばしいことであり、正直、「卒業式ができてよかった」と、心の底から安堵しています。

**皆さんの学年は**、令和の元号になってから最初の卒業生であること。こうした卒業生と先生方だけで行われる特別なかたちの卒業式を行った学年であること。そういう2つの特別が、皆さんにとっては忘れられない卒業式になったと言ってもらえるように、在校生が3送会で先輩たちの笑顔が見たくて製作していた感謝の思い(教室の装飾や掲示物、体育館のスタンドグラス等)の続きを、先生方皆で形にして今日を迎えました。

**卒業生の皆さん**、ご卒業おめでとうございます。今、手にした卒業証書には、「中学校の課程を卒業したことを証する」と記されています。この言葉には、「義務教育9年間を無事に修了して、社会の一員として求められる資質を身につけられた」という証です。大切にしてください。

**皆さんとの出会いは**、3年前の平成29年4月10日の入学式。学年の半分近くが新しい友達との出会いで、中学校生活の始まりは、期待よりも不安の方が大きかったかもしれません。それでも皆さんには、明るく元気な雰囲気があり集団で何かをする時は皆で楽しむために協力でき、先生方の指導もしっかり守れるという印象でした。

**2年生の宿泊学習では**、実行委員のリーダーたちを中心に、全体行動において仲間と協力する姿勢が随所に見られ、自分たちが計画・準備してきたことだからこそ、皆が楽しめるように色々な工夫や配慮をしていることがよくわかり、学年全体のまとまりを感じました。

**部活動においても**中心学年となってからは、どの部活も熱心に取り組み、仲間と力を合わせて、大変素晴らしい成果を収めてくれました。運動部は、個人や団体が数多くの県大会出場を果たし、文化部もコンクールやイベント等において素晴らしい活躍を見せてくれました。これらの栄光は、不断の努力と部員同士の「団結力」があったからこそ、成し得たことです。



**3年生になってからは**、最上級生という立場を理解し、色々な行事で自分たちが主体となって、自信をもって活動してくれました。まずは、修学旅行。スローガンの中に『トモイチ』という言葉がありました。「大切な友達と、いつも一緒に過ごす」、「友達を一番に考える」修学旅行にするという学年の「想い・願い」が込められていただけあって、班別行動では、夏の暑さの中、ヘトヘトになりながらも、互いに助け合い、協力し合って見学地を回っている姿を見ることができた時、微笑ましくもあり、頼もしく成長していることを実感できました。

**さすが台中生というエピソード**もありました。京都の路線バスの運転手さんに、「乗り方のマナーがとてもいい」と、ほめられたり、バスの中で妊婦さんに席をお譲りしたことで、わざわざ学校までお礼の電話をいただいたり、宿泊先の支配人さんからも、「私たちスタッフも嬉しくなるほど、礼儀正しい素晴らしい生徒さんたちでした」と丁寧なお手紙をいただくなど、皆さんの善い行いが、複数称賛されたことに誇らしく、嬉しく思ったことが、つい先日のように思い出されます。

**体育祭では**、3年生が一番熱く真剣に競技、応援する姿を見せ、団長・副団長さんのリーダー達が、各団100人を超える大集団を見事にまとめ、後輩たちのよき手本となってくれました。

**音楽会でも**、「さすが3年生!」と、誰もが称賛するほど、圧倒的な歌声を会場全体に響かせてくれました。本当に感動しました。こうした行事での華やかな姿の陰には、団や学級が一つにまとまらず、悩んだり、涙したりしながら当日を迎えていたリーダーたちの苦労があったことも知っています。それでも当日には、行事を成功に導くために仲間を信じ、頑張っていた先輩たちの姿が、後輩たちにとっては、「自分たちも先輩たちのようになる」と、目指すリーダー像として目標にもなったはずです。今お話したことは、3年間のほんの一場面です。

**皆さんは**、学年が上がるに連れて確実に成長しました。上級生としての自覚と責任が感じられるようになりました。私たちの期待にも応えてくれました。学校は、最上級生がしっかりしていると落ち着いた学校になります。よき伝統を繋ぐこともできます。皆さんは、後輩たちに「伝統を繋ぐ」という使命をしっかりと果たしてくれました。ありがとうございました。

**卒業する皆さんに饒として伝えておきたいこと**。一つは、成人年齢になるのが今までよりも早くなるということです。2022年4月から、現行の法律で言う成人年齢が20歳から18歳に変わります。中学を卒業してから、たったの三年で成人年齢となり、「選挙権」を持ち、「大人として扱われる成人」ということになるだけです。とは言っても、法律上は、まだ今の大人と同じことができないものもありますが、自分の行動に責任を問われる年齢になることは確かです。ですから、中学を卒業してからも社会に出て、一人の大人として生き抜く力を身に付けるためにも、これまで以上にしっかり勉強してください。そして、自分の言動に責任を持ち、まわりから信頼される格好いい大人を目指してください。

**もう一つ。「人生は選択の連続である」という** 当たり前を知っておくことです。この言葉は、世界的にも有名なイギリスを代表する英文学作家であり劇作家のウィリアム・シェイクスピアさんの言葉です。確かに、人生は選択の連続です。では、何のための選択なのか。それは、自分の人生をよりよく生きるため、将来の夢を叶えるためです。皆さんは既に、その第一歩として、中学卒業後の進路・進学先を自分で選択しました。そして、選択した後は、それを叶えるために努力をし、乗り越えて、頑張ったからこそ今があります。

**これから先の人生を想像しても**、そう遠くない将来、再び上級学校へ進学か、それとも就職か等の選択があります。進学を選択するならば大学か専門学校か、学業を優先して文系か理系か、それとも特技を優先して芸術系か体育会系か、留学するかしないか等。就職ならば、どんな職業を選択するのか、企業か公務員か職人さんか、芸能か音楽か、活躍の場は日本か海外か等々、例をあげればきりがありませんが、そうした選択を繰り返しながら人生を歩んでいくこととなります。

**選択をするということは**、「挑戦するのか、しないのか」、「目指す道をそのまま進むのか、それとも変更するのか」等を具体的に決めるということです。迷うこともあるでしょう。選ぶ道によっては、困難に突き当たることもあるかもしれません。そんな時は、自分にとって困難かと思う方を選んだほうがいいと思います。何故なら安易な方を選ぶことで楽をすることを覚えて、努力することを怠るようになってしまうかもしれません。困難と思う方を選んで、たとえそれがうまくできなかったとしても、挑戦したことに価値があるし、「次こそやれる、頑張る」といった意欲や自信につながるきっかけになると思うからです。

**漫画ドラえもんからあるエピソードです**。ドラえもんの友達のび太君は、ある日、旅をすることになりましたが、楽な道を選びたいという考えから、ドラえもん自分に合った都合のよい便利な道具を出してもらいました。それなのにび太君は、思いどおりにならないことを他人のせいにしてたり、進む先に困難があるからと言って嘆いていました。そんなび太君にドラえもんはこう言いました。『道を選ぶということは、必ずしも「歩きやすい安全な道を選ぶ」ってことじゃないんだ。困難があったら乗り越えれば良い。君は、これから何度もつまづく。でもそのたびに立ち直る強さも持っているんだ』と言ったのです。

**「困難があったら乗り越えれば良い」**。困難とは、自分を試されている試練だと考えてください。大丈夫、神様は、乗り越えられない試練は与えないと言います。たとえ失敗することがあっても目の前に困難が立ちはだかっただとしても、失敗から立ち直る力や困難を乗り越えるだけの力が、これから先、色々な経験をすることで備わっていきます。皆さんには、狭山台中で培ってきた自信と誇りを胸に自分の可能性を信じて、チャレンジの精神を忘れずに、自分が思う道を堂々と歩み、夢を叶えていってほしいと思います。

**卒業生の皆さん**、今日まで台中を支えてくれて本当にありがと。元気で頑張ってください。皆さんとの別れは寂しいです。しかし、今日の別れは、新たな出会いの始まりのためです。人生の道はここからが始まりです。健やかに逞しく！君達の人生に幸多かれと心から祈念し式辞とします。令和2年3月14日 狭山市立狭山台中学校長 今村義浩

## 卒業生関係の表彰 おめでとうございます！（3年生のみ掲載しています）

### 【令和元年度 狭山市小中学生スポーツ・文化教育長表彰】

文化・芸術・スポーツの分野で県展以上の展覧会で特別賞、関東大会全国大会出場等により狭山市教育委員会教育長が優秀と認めた生徒！

<b>文化表彰</b>	さん	アートグランプリ 中学校美術部作品展 全国佳作
	さん	第16回日本管弦打楽器ソロ・コンテスト 打楽器の部 金賞
	さん	愛鳥週間用ポスター原画コンクール 県優秀賞
<b>スポーツ表彰</b>	さん	第19回全国中学生都道府県対抗野球大会 出場
	さん	日本クラブユースサッカー選手権 U-15 関東大会 出場

### 教育長賞授与式



### 【学業・文化・スポーツ分野の活躍により埼玉県から表彰！】

埼玉県教育委員会 善行優良生徒表彰	さん
埼玉県産業教育振興会 小中学生優良生徒表彰	さん
埼玉県体育優良児童生徒表彰	柿沼飛来さん

### 【第60回埼玉県小・中学校等児童生徒美術展】

市内展 佳作	さん	さん	さん
入間地区 入選	さん	さん	さん
県展 特選	さん		

### 【第13回アートグランプリ in SAKAI 全国中学校美術部作品展】

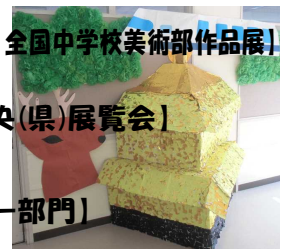
佳作 さん

### 【第72回埼玉県書きぞめ中央(県)展覧会】

特選賞 さん

### 【狭山市交通安全作品ポスター部門】

佳作 さん



### ☆3年間皆勤賞（無欠席・無遅刻・無早退）37名

さん	さん	さん	さん	さん	さん	さん
さん	さん	さん	さん	さん	さん	さん
さん	さん	さん	さん	さん	さん	さん
さん	さん	さん	さん	さん	さん	さん
さん	さん	さん	さん	さん	さん	さん
さん	さん	さん	さん	さん	さん	さん

3年間、心身ともに健康を維持して「皆勤」「精勤」であったことは誠に立派です！



### ☆3年間精勤賞（無欠席&遅刻・早退合わせて3日以内）20名

さん	さん	さん	さん	さん
さん	さん	さん	さん	さん
さん	さん	さん	さん	さん
さん	さん	さん	さん	さん

3送会で披露するはずだった掲示物の一部を掲載しました！

